

組合 NEWS

Faculty and Staff Union of Kanazawa University
金沢大学教職員組合執行委員会
金沢市角間町
Tel.076-262-6009(FAX同じ) / 角間内線2105
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホームページ http://www.ku-union.org/

2016年8月30日

通巻1247号

この号の内容

- 駐車場有料化問題

7/27 交渉報告 有料化の根拠示されず 大学は駐車場有料化を撤回すべき

7/27、駐車場有料化問題について団体交渉を行いました。既に8/5発行の速報で概要をお知らせしておりますが、改めて本号で詳細を報告いたします。大学は《有料化ありき》《負担のない少額に設定》との主張に終始し、有料化する合理的な理由を説明できませんでした。駐車場の有料化は労働条件の不利変更であり、労働者の合意がなければ実施できませんし、組合は根拠のない有料化に反対します。

・徴収対象

役員	24,000円/年	*役員は本部棟前に専用スペース確保
教職員	12,000円/年	学生 6,000円/年
常駐業者	12,000円/年	臨時駐車 300円/日

*パーキングチケット精算機を設置
*オープンキャンパス、入試等のイベント時は無料

*非常勤講師、課外活動職員、障がい等により自動車通勤・通学が必要なひとは免除

- ・対象地区 角間・鶴間・平和町・東兼六 *宝町は現状維持
- ・ゲートは設置しない
- ・巡回の強化や不許可車への罰金を科す



《そもそも》駐車場有料化はおかしい

*発行済みの組合ニュース1237号、1242号参照。
組合のHPに掲載されています。

大学は、「有料化はおかしい」というそもそも論に依らず、「負担にならない範囲で金額を設定した」との説明を繰り返しました。しかし、金額以前の問題として、正当性のないお金は支払えません。そもそも車通勤者から駐車料金を徴収する正当な根拠はなく、私たちは有料化に反対しています。

例えば、車通勤者の通勤手当は公共交通利用者よりも低額に抑制されており、大学の負担軽減に寄与しています。その代わりとして、駐車場を整備して利便性を向上させるのは大学の責務です。こう考えるのは、車通勤、公

共交通利用にかかわらず、「通勤にかかる費用は大学が負担する」のが、従来からの大学の方針であると理解しているからです。

駐車場有料化は、事実上、車通勤者のみの通勤手当を引下げることを意味し、公共交通利用者との公平性を欠きます。また通勤手当の引下げという点では、駐車場の有料化は公共交通利用者も無関係ではありません。今回のことが車利用者以外の通勤手当を引下げる口実にならないか危惧されます。全職員の働きやすい環境を維持するために、駐車場有料化を撤回すべきです。

駐車場整備費用の積算根拠が曖昧なまま



大学は「駐車場整備費用の一部を負担してほしい」と繰り返します。しかし、整備費用の積算根拠は不明。組合ニュース1237号でも紹介したように、現在示されている整備費用には多くの疑念があります。今交渉で改めて詳細の開示を求め、大学は約束しました。過去の費用実績の公開のみならず、今後の契約関係も含めて本当に1円もコストカットできないのか検討を求めます。

有料化で新たに発生する費用としては、2011年度に有料化が検討された時の資料に

よると、巡回強化のために400万円増等の記載があります。また今回でいえば、1台100万円程度のパーキングチケット精算機を角間で5～6台設置し、その工事費に300万円程度必要との試算が示されました。有料化で3000万円の徴収額が見込まれていますが、それが全て大学の利益になるわけではありません。私たちが支払った料金の多くが業者の儲けになるだけなら本末転倒です。大学の地域振興とは、給与を関連業者に還流することではないはずです。

一旦有料化が始まれば簡単には止められない

交渉で大学は「ダメだったらやめればいい」と主張しました。しかし、初期費用やランニングコストを考えると、一旦有料化すると簡単に止められないはずです。

また有料化時こそゲートは設置されませんが、管理強化等を理由に後で設置される

可能性は皆無ではありません。しかしそうなれば追加費用が発生しますし、それを大学が負担しないのであれば、値上げして徴収し続けるしかないのです。もしダメだった場合、最終決定を下した誰かが無駄になった費用を負担してくれるのでしょうか。

宝町キャンパスとの不公平の解消のために

宝町キャンパスは有料化しているから他も有料にする方が公平だという主張があります。しかし、既述の通り通勤費用の大学負担の原則から、そもそも宝町に勤務する教職員から駐車場代を徴収していることが不公平です。不公平を解消するために、大

学は駐車場料金を補助すべきなのです。

因みに、料金設定は「立体駐車場整備および運営費に必要な経費を基に算定されている」というのが大学の回答ですが、その収支報告が私たちに開示されたことはありません。

利用者が自腹を切って手に入れる「価値」が全く不明瞭



大学は、（角間キャンパスの）駐車場整備が「大学の責任」であることを交渉の場で認めました。これは、「駐車場がある」という基本的な価値に対し、利用者は（所定の手続きを踏めば）お金を出す必要はない、ということの意味します。では有料化に際し、利用者が自腹を切ることで手に入れられるサービス（付加価値）は何でしょうか。この問いに、大学は「除雪」と答えるかもしれません。しかし、今度の有料化は、そもそも「純粹に駐

車場の除雪にかかった費用の一部を利用者が負担する」という形で制度設計されていません。また、巡回の強化や精算機の設置は、あくまで料金徴収の漏れをなくすことが目的であり、「代金を支払っている利用者に対するサービスの質の維持・向上」という根本的な視点が抜け落ちています。支出する側が、何に対してお金を払っているのか分からない。こんなビジネスを金沢大学では「自己収入の拡大」と呼ぶようです。

不誠実な団体交渉・基幹会議での不十分な検討

大学は有料化を撤回しないと主張し、その理由として、昨年末の財務施設企画会議や経営協議会等で決定していること、また本交渉の前週に行われた役員懇談会と評議会です承されたことをあげました。

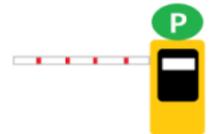
しかし大学のこの態度は明らかに不誠実です。今年2月の団体交渉では、同月の交通計画小委員会で具体的な検討をするとの説明があり、その検討を踏まえて改めて団体交渉することを確認しています。同委員会では具体的な手続きや起こりうる問題点の検討を踏まえて、当然、有料化の是非についても議論されると理解されたため、組合としては交渉の中断を了承しました。

昨年末の時点で有料化を撤回する意思がなかったのなら、そもそも決定前に団体交渉をすべきでしたし、2月の交渉での大学の対応は極めて不十分でした。また組合からの交渉再開の要求に速やかに応えるべきでした。

この間、問題点が次々と指摘され、開始が遅れています。延期は当然の判断だと思いますが、そもそも誰でも思いつくような具体的な問題点の検討をせずに、大学執行部は何を根拠に有料化の方針を決めたのでしょうか。

「自由に使える基盤的経費を増やしたい」という思いだけで方針を決定し、実務の検討は委員会や担当部局に丸投げするのが、世界を目指す大学執行部の正しい姿なのでしょうか。

来学者は《1日300円》で臨時駐車場を利用



一般の来学者からも1日300円を徴収するとしています。生協や図書館を一時的に利用する市民の方からも徴収する方針です。

そもそも来学者からの料金徴収は、大学にとって本当にメリットがあるのでしょうか。金沢大学は積極的に地域貢献する姿勢を示してきましたし、YAMAZAKIプランでも「地域・社会とともにある大学」との目標が掲げられています。同プランには、「附属図書館・資料館の教育研究活動支援機能の強化」として、「地域住民に対する附属図書館及び資料館のサービスの向上」等も掲げられ、住民の利便性向上が重視されています。有料化はそれに逆行する行為です。

特に角間にあっては、交通手段が乏しい中でわざわざ大学まで足を運んでいただくという姿勢を欠き、地域貢献という点で大きなデメリットです。市民、地域住民から大学がどのように見られるかという点も踏まえると、有料化すべきではありません。

また仮に、有料化するとしても、提案されている臨時駐車場の料金徴収制度にはいくつかの問題点や疑問点があります。①初期費用を回収出来るのか（パーキングチケット精算機の設置に1000万円弱かかる）、②24時間いつ駐車しても1日300円なのか（勤務時間以外や、土日祝日は無料にすべきでしょう）、③

30分未満等の比較的短時間で

も有料なのか（生協で食事するため、本を購入するためだけの利用、卒業生が各種証明書を受領するために利用する場合などの駐車もありえるので、短時間駐車は無料にすべきでしょう）、④（教職員個人を含む）大学から来学を要請した場合も有料なのか（共同研究のために企業の研究者や担当者の打合せが必要な場合、工事等のために業者との打合せが必要となった場合等は無料にすべきでしょう。因みにパーキングチケット精算機設置のための打合せの場合は有料？）、⑤料金徴収を徹底できるのか（無断駐車はどのようにして発見するのか、発見したとして違反金を徴収するのは容易ではありません）、⑥許可証を持たない学生と一般来学者の駐車を判別できるのか等々、少し想像しただけでもいくつもの懸念点が浮かびます。

有料化した以上、違反駐車を見逃すと不公平になるため料金徴収を徹底しなければなりません。しかし実務的には、解決困難、あるいは解決に多大の労力が必要になることが想像されます。そもそも、ゲートを設置せずに巡回強化のみで有料化できると判断したことが誤りだったと言わざるを得ません。ゲート設置が金額的に見合わない判断された時、有料化も断念すべきでした。

《イベント時が無料》なら《通常時も無料》でしょ

そもそも有料化することに正当性はなく、イベント時が無料であることは当然だと考えます。しかし、有料化の方針を掲げる大学として、整合性は取れるのでしょうか。

自己収入拡大を目的に有料化する大学としては、イベント時は増収の絶好の機会です。にもかかわらず無料とするには、理由があるはずですが、来学者多数のためにチケット発券で混乱する可能性は、当然、考えられます。

加えて、そもそも来学者からの料金徴収自体に無理があるとの考えがあるからではないでしょうか。角間まで来て駐車場が有料だと知った来学者が困惑する姿は容易に目に浮かびます。多数が来学するイベント時は負の影響が多すぎるのです。そうでなければ有料にするでしょう。同じ一般来学者なのに、少数者からならコツコツ徴収してもよいのでしょうか。

公平性の確保が困難という金大独自の事情

有料化するためには、公平性の確保が大前提です。例えば、料金を払った者と違法駐車をして料金を払わなかった者との間の不公平はあってはならず、そのためには、違反者の速やかな発見と適切な料金徴収が必要です。大学は巡回強化で対応していますが、それでは難しいでしょう。ゲートを設置する案もありますが、設置費用が高額になり現在の料金では運営できません。

大学によっては、有料化により専用スペースが確保されているところもあります。それが実現するなら有料化に賛成する意見も聞きます。しかし、全員が勤務場所の近く

の駐車スペースを確保することは不可能です。もし遠くの場所に当たってしまったらどうなるのでしょうか。場所の公平性を確保するために、時々くじ引き等をして場所を入れ替える必要がでてきます。当然それには多大の労力が発生するので、現実的な選択肢とは言えません。

結局、いかにしても公平性の確保は難しいのであり、有料化の前提条件を整えることができないのです。



役員専用スペースの確保は必要？金額は妥当？

役員は、24,000円／年で、本部棟前に専用スペースを確保します。そもそも役員専用スペースは必要なのでしょうか。「近くに駐車したい」という理由なら、それは他の教職員、学生も同じです。

金額についても、理事の給与は1200～1400万円（大学のHPで公表）ですから、24,000円／年は本当の少額負担ということなのでしょうか。また、専用車を利用する学長の駐車場代は発生するのでしょうか。

大学案は問題多すぎ 10月実施は無理

現在の大学の提案は問題が多すぎ、提案自体に無理があることは明白になりました。一貫して有料化反対を求める私たちの主張に変わりはありませんが、仮に大学として

有料化を提案するとしても、最低でも10月からの実施は延期するように求めました。

